

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 大阪府立 市岡高等学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☒ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他 (例: 小中高一貫 )  
所在地 〒552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町2-12-12  
E-mail \_\_\_\_\_  
Website <http://www.osaka-c.ed.jp/ichioka/>  
幼児児童生徒数 男子 430名 女子 529名 合計 959名  
幼児・児童・生徒の年齢 15歳 ~ 18歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

(記入例)

当校は、「国際」「防災」「人権」「地域」をユネスコスクールの学校理念として、ESDの実践を通してコミュニケーション能力を高め、他者と協働して問題解決をはかる力の育成を目標としている。

具体的には、①コミュニケーショントレーニング、②国際交流、③防災学習、④多様性理解(在日外国人・性的マイノリティ・障がい等)に関わる学習に関わる学習をおこなった。

### ① コミュニケーショントレーニング

段階に応じたワークショップをおこなった。内容は以下のとおり。

(1) これまでの自分を振り返り、現在の自分をみつめる、(2) 言葉の重要性、危険性を考え、コミュニケーションのあり方を考える、(3) アンガーマネージメントやアサーションなど、コミュニケーションの方法を知る。

## ② 国際交流に関わる活動

オーストラリア クイーンズランド州 タウンズビルで希望者による11日間の語学研修をおこなった。現地の幼稚園、小学校、中学校、高等学校で日本文化の紹介などとともに、交流を深めた。



② 現地校での交流の様子

## ③ 防災学習

防災について意識を高めることを目的とし、人ごとではなく、被災する可能性が常にあること、そして防災のために何ができるか、そしてリスクマネジメントについて生徒自身が考える機会とした。

まず、「港区防災マップ」「大阪のゼロメートル地帯地図」「防災意識チェックシート」などを用い、現在の防災に関する知識を確認した。その後、関西大学社会安全学部安全マネジメント学科教授の亀井克之さんによる講演、関大社会安全学部学生による東日本大震災の被災地でのボランティア体験報告を聞いた。最後に、防災ゲームクロスロードゲームをおこなった。

## ④ 多様性理解に関わる学習

自分とは価値観や考え方の異なる人も含めた、様々な立場の人の思いに触れ、自分自身を見つめなおし、自己・他者を尊重する人権意識を高めることを目的とした。今年度の学習は以下のとおり。

### (A) 在日コリアン

- ・ビデオ鑑賞「大阪生野コリアタウン」
- ・クラスごとに8人の講師によるワークショップ  
(特定非営利活動法人コリアNGOセンター)

### (B) セクシュアルマイノリティ

- ・ワークショップ「多様な性とは、LGBTとは」
- ・講演（インフルエンザ流行のため、中止）

### (C) 国際理解

- ・JICA アフリカ人研修員による出身国の紹介および質疑応答



④ (C) 交流の様子

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 環境                  | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー                 | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災          | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性            |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動                | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産           | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉               | <input type="checkbox"/> 10. 食育                   | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費            | <input type="checkbox"/> 12. 貧困              |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク              | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク                | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |  |  |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力             | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力          |
| <input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力         | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度              |
| <input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度            |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )           |  |

ウ. 活動時間（複数選択可）

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 教科の時間      | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等      | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動                |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 ) |  |

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 防災ゲーム クロスロード</li><li>・ 本校独自教材</li></ul> |
|---|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校教育計画に、「総合的な学習の時間の充実」をかけた、そのためにユネスコスクールとしての国際、地域、防災、人権の学習を通じて多様性を理解し、協働し、自主的・自立的に物事に取り組む力を育成することをあげている。また、多様性の理解の深化、表現力・コミュニケーション能力及び生徒の達成感や自己肯定感の育成を図ることも明記している。

全ての学習において、事前・事後学習をおこない、職員会議等で当該学年の担当者だけでなく、全職員に周知している。また担当する学習支援部でその都度総括をおこない、次年度の学習に向けて成果と課題を確認している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校の総合的な学習の時間は、生徒の進路に関するガイダンスの時間と、ユネスコスクールである本校テーマを学ぶ時間で構成されている。後者のテーマ学習は、各該当学年に取組担当者を置き、学習支援部に所属する。部としてはこれまでの取組の概要、生徒向け資料等をすべてアーカイブ化しており、テーマ学習が継続しておこなわれるようになっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年度末の生徒による学校教育自己診断では「総合的な学習の時間は充実している」に 76.9 ポイント、「国際・人権・防災・地域について学ぶ機会がある」に 89.1 ポイントの生徒が「あてはまる」と解答している。

生徒自身によるそれぞれ取組の自己評価や感想を踏まえると、どの学習においても概ね好評である。特に外部講師との出会いが、生徒の生き方のロールモデルになることも多く、今後とも外部機関と連携していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

特記事項なし

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)  
※チェック事項 2-3 に対応

・ 関西大学社会安全学部安全マネジメント学科  
・ 特定非営利活動法人コリア NGO センター  
・ 独立行政法人 国際協力機構 JICA

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

特記事項なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)  
※チェック事項 2-5 に対応

特記事項なし

(3) 平成 30 年度の活動計画(200~400字程度)

平成 29 年度と同様に

①コミュニケーショントレーニング

②国際交流

③防災学習

④多様性理解(在日外国人・性的マイノリティ・障がい等)  
に関わる学習に関わる学習をおこなう予定

②に関しては、オーストラリア交流校からの受け入れも予定している。